令和４年度　☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

YURIKAGO通信

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆《新春号》

Ｒ５．１．１０　東京ゆりかご幼稚園

あけまして　おめでとうございます

２０２３年が、皆様にとりまして佳い年となりますようお祈り申し上げます。子ども達が健やかに成長できますよう、教職員一同、心を尽くし見守って参りたいと思います。どうぞ本年もご協力をお願い申し上げます。

★３学期は１年間の保育の集大成の時期にあたります。１学期、２学期と子ども達が経験してきたことが、「個人の成長」「クラスのまとまり」という形で大きく花開き、自信に満ちあふれ、充実した日々を過ごせるようになっていきます。園では、そうした姿を認め、称え励ましてあげたいと思います。一方で、進級･進学に向け、不安な様子が見られることもあります。ご家庭におかれましては、お子様の様子に気になる点がございましたら、どうぞ園までお知らせいただきますようお願い申し上げます。

★写真にもある毎年恒例の「門松」は、昨年１２月１７日に鉄腕クラブで作成し、正門に設置したものです。年神様が降りる際の目印という意味や、１年の幸福祈願など様々な意味があります。特に園では、子ども達の健康と、保護者の皆様、地域の皆様、教職員等、日頃から園を支えて下さっている大勢の皆様の幸せを願い、心をこめて作りました。

門松には、中国の「歳寒三友」として伝わった「松竹梅」を用いることが多いのですが、園では、園庭にある自然素材を出来るだけ多く使用し、その作り方にも様々な意味や願いを込めています。以下、昨年同様紹介させていただきます。

・松･･･園の畑の横にある黒松の木から切り出しています。
・竹･･･中心に３本ずつ立つ孟宗竹は、「笑う門には福来たる」に因み、切り口が「笑った時の口の形」を表しています。園内にある竹はまだ十分に育っていないため、七夕などでいつもお世話になっている竹林からいただいています。
・梅･･･紅梅、白梅が園内にたくさん生えていますが、まだ咲く時期ではないため、代わりに園庭の「アオキ（赤い実をつける）とセンリョウ」を飾っています。また、紅白の葉ボタンも植えています。
・稲わら･･･門松の周囲の稲わらは五穀豊穣を願うことを表しています。年長が園の棚田で丹精込めて育てた稲わらを使用。それを藁縄で下から順に、７回、５回、３回と巻き「七五三」になるように縛っています。ご存じ「七五三」は子どもの成長の節目を祝う年の数ですね。さらに余談ですが、３本の竹も藁縄で２回縛っています。これは本園の住所「七国３－５０－２」に因んだもの。「７・５・３・２」がありますね！このように毎年作っているうちに、縁起を担ぎ、色々な意味や願いを込めるようになりました。

◎門松は子ども達や保護者の皆様にもご覧頂けるよう１／１５（小正月）頃まで飾ります。